

高島市文化財保存活用地域計画(案)【概要版】

【序章 計画策定について】

◆計画策定の背景

平成30年に文化財保護法が改正され、近年課題となっている文化財の保存継承に対し、各自治体が「文化財保存活用地域計画」を定めることが制度化されたことから、本市においても高島市文化財保存活用地域計画を策定する。

◆計画の目的

市内の文化財の状況を的確に把握するとともに、「第2次高島市総合計画」との整合を図りながら、保存・活用を総合的・計画的に推進する。

◆計画期間

令和3(2021)年度から令和12(2030)年度までの10年間

◆本計画で扱う文化財の範囲

計画対象は、文化財保護法に定められる文化財のみでなく、高島市の歴史文化を理解する上で重要な自然環境、景観、地域の伝承や習慣、人々の伝統的な活動等を含むものとする。



【第1章 高島市の概要】

高島市の歴史文化の特徴に必要な概要を、以下の項目で記載した。

- ・位置と概要 ・地形 ・地質 ・気候 ・景観 ・人口の動向 ・交通
- ・産業等

【第2章 高島市の文化財の概要と特徴】

文化財保護法に基づき、指定・登録・選定・選択されている文化財は、下表のとおりである。

指定・登録・選定・選択文化財の内訳

種別	有形文化財(指定)	民俗文化財(指定・選択)	記念物(指定)	文化的景観(選定)	有形文化財(登録)	合計
	彫刻・書跡・建造物等	有形・無形	史跡・名勝・天然記念物			
指定等件数	127	17	19	3	11	177

特に、重要文化的景観は3カ所選定され、自然と人の暮らしが作り上げた貴重な景観が多く残されている。また、指定等を受けていない多くの埋蔵・有形・無形文化財が存在しており、古くからの人の営みや、都との交流の歴史をうかがうことができる。

【第3章 高島市の歴史文化の特徴】

1. 交通の要衝の影響

古代から現代に至るまで、日本海と畿内を結ぶ大小様々の陸路と水路を介した人や物の交流が多くの文化財を生み出した。

2. 山の恵みと産業

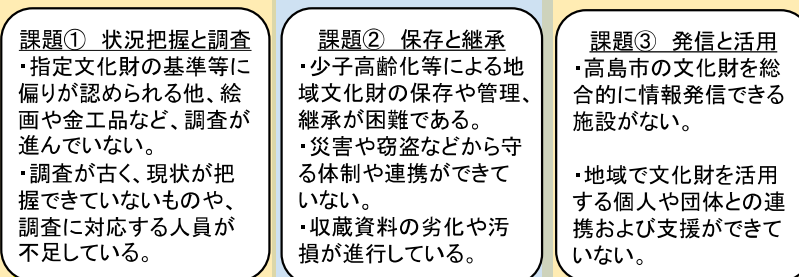
豊かな山林資源に恵まれ、それらを活かした文化財が発達、継承されてきた。

3. 水辺の生活文化

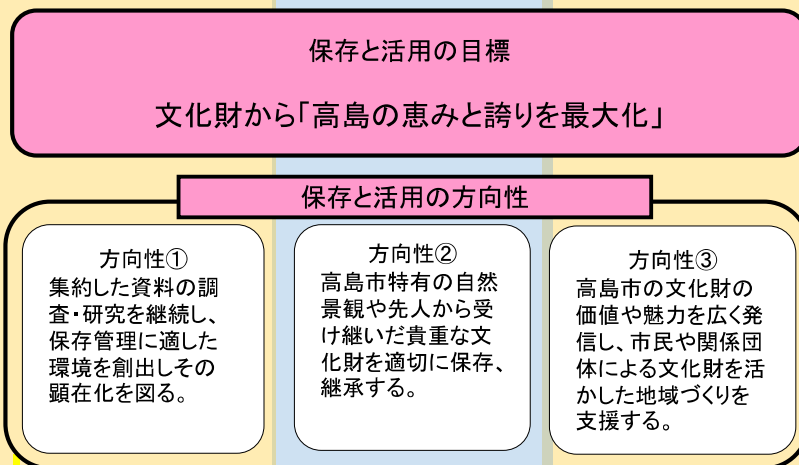
水源、里山、琵琶湖およびそれらをつなぐ川が存在し、様々な水辺での暮らしが維持されてきたことにより、特徴的な文化財や生活文化が継承されてきた。

【第4章 文化財の保存と活用に関する現状と課題】

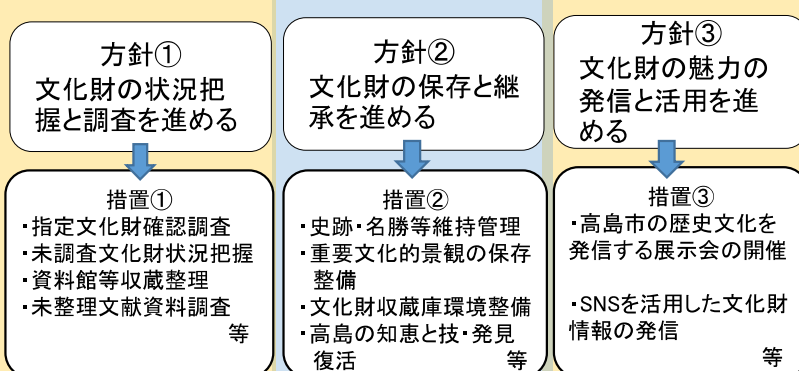
- これまでの文化財調査の概要
- 文化財調査の課題
- 文化財の保存と活用の状況
- 文化財の保存と活用の課題



【第5章 高島市の文化財の保存と活用に関する目標と方向性】



【第6章 文化財の保存と活用に関する方針と措置】



【第7章 高島市の関連文化財群】

関連文化財群とは、地域の多種多様な歴史遺産を、一定のまとまりで捉えたもの。文化財群ごとに、高島市の歴史文化の特徴や魅力を分かりやすく伝えることができるストーリーを設定し、歴史イベントの開催や資料館展示等の多彩な取り組みを展開する。

- ストーリー① 継体大王出生の地
継体大王出生伝承関連地や市北部の製鉄関連遺跡をつなぐ
・田中古墳群 ・南市東遺跡 ・胞衣塚 ・上御殿遺跡 ・天神畑遺跡 ・鴨稻荷山古墳 ・水尾神社 ・北牧野古墳群 ・斎頼塚古墳 ・下平古墳群 等
- ストーリー② 都とつながる山・川・道
都の用材の供給地であった朽木杣、市内を流れる河川、市内を通る街道、それら周辺の関係文化財をつなぐ
・安曇川 ・若狭街道 ・朽木池の沢庭園 ・若宮神社 ・朽木の木地屋用具と製品 ・北陸道 ・剣熊関跡 ・五番領の道標 ・勝野津 ・太湖汽船棧橋跡 等
- ストーリー③ 高島七頭と城館跡
鎌倉時代から室町時代末にかけて、市内に割拠した高島七頭と在地領主が築いた城館跡等をつなぐ
・田屋城跡 ・伊井城跡 ・清水山城館跡 ・田中城跡 ・大溝城跡 ・打下城跡 ・西山城跡 ・岩神館跡 ・信長の隠れ岩 ・七川祭 ・佐々木神社 等
- ストーリー④ 中江藤樹の教え
安曇川町上小川出身の近江聖人・中江藤樹の教えと関係地をつなぐ
・藤樹書院跡 ・藤樹神社 ・中江藤樹記念館 ・藤樹道道標 ・藤樹像 等
- ストーリー⑤ 湖辺の祈りと暮らし
日本遺産や重要文化的景観に選定される水辺の景観と、そこで暮らす人々の生活文化が創り上げた文化財をつなぐ
・白鬚神社 ・シコブチ信仰 ・重要文化的景観 ・伝統的漁業 等

【第8章 文化財の防災・防犯】

文化財防災マップの作成、地域自主防災活動との連携、文化庁防火対策ガイドラインに基づく点検を行う。

【第9章 文化財の保存と活用の推進体制】

今後は、文化財の保存と活用の措置を、行政と文化財所有者、市民、関係団体が、専門家の指導や協力を得ながら、互いに協力、連携して行っていくものとする。

